

東海大学医学部付属病院にて2016年4月から2025年3月の期間に、
眼科で眼内レンズの（一般的な挿入方法とは異なる）強膜内固定術を受けられた
患者さんおよびそのご家族の方へ

生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

【研究の実施について】

東海大学医学部付属病院では、上記の手術を受けられた患者さんの情報を使い、病気の理解や治療法の向上を目的とした研究を行っています。

この研究は、東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受け、法律や倫理指針に従って実施されます。患者さんの個人情報、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して使用いたします。なお、研究成果は、学会や論文で発表されることがあります。

【参加を希望されない場合】

ご自身やご家族の試料・情報を研究に使用されたくない場合は、研究成果が公表される前までに、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡があれば、研究対象から除外いたします。但し、研究成果の公表手続きがなされた後には除外することができませんので、ご了承ください。

なお、本研究へのご参加の有無が診療や治療に影響することはありませんのでご安心ください。

【研究の概要】

対象者：西暦2016年04月01日～2025年03月31日の間に、当院眼科で、水晶体再建術の際に用いられる眼内レンズを一般的な挿入法（嚢内固定）ではなく、強膜内固定術を受けられた方

研究課題名：眼内レンズ強膜内固定術の手術成績

倫理審査番号：26R007

研究期間：【許可日】～2030年3月31日

26 5 2 2

【本研究の目的・意義】

本研究の目的は、当院で行ってきた強膜内固定術における手技の工夫について、その有無による違いを比較解析することです。当院での工夫した方法が、オリジナルの方法よりも、より手術時間の短縮が期待でき、また合併症が少なくなる可能性があります。それが本研究で証明されることは、臨床上の大きな意義があると考えます。

【使用する試料・情報の例】

試料：該当なし

情報：診察所見、検査データ<視力、眼圧、屈折、眼球形状、角膜内皮細胞数>、画像<眼底写真、前眼部写真、OCT>、眼内レンズデータ、手術記録<手術の内容、使用した器具、術後経過>

【個人情報の取り扱い】

本研究で得られた情報は、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して、第三者には個人が特定できない形で使用します。加工する前の個人情報と研究データを結びつける一覧表(対応表)は厳重に管理し、研究終了後5年後もしくは成果発表から3年後の何れか遅い方に破棄します。

[情報の開示について]

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

[研究資金・利益相反^{りえきそうはん}について]

この研究は学内の研究費で行われ、企業からの資金提供はありません。そのため、現時点で開示すべき利益相反はありません。

[研究組織]

研究機関名：東海大学医学部付属病院

研究責任者所属・氏名：東海大学医学部専門診療学系眼科学・中川 喜博

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

[お問い合わせ先]

東海大学医学部付属病院

電話：0463-93-1121 (代表) 内線：5253

研究責任者：眼科／中川 喜博

担当者：眼科／中川 喜博

[更新履歴]

2026年04月18日

第1版